

設定ファイル

この文書では、Apache HTTP サーバを設定するのに使用するファイルについて 記述しています。

トピック

メインの設定ファイル.....	1
設定ファイルの構文.....	1
モジュール.....	1
ディレクティブの適用範囲.....	2
.htaccess ファイル.....	2
URI References.....	3

メインの設定ファイル

関連モジュール	関連ディレクティブ
mod_mime	<IfDefine> Include TypesConfig

Apache は ディレクティブ¹ を設定ファイルに平文で書くことにより設定します。メインの設定ファイルは普通は httpd.conf という名前です。このファイルの位置はコンパイル時に設定されますが、コマンドラインの -f フラグにより上書きできます。また、他の設定ファイルを Include ディレクティブによって追加でき、ワイルドカードを使用して多数の設定ファイルを追加することができます。どんなディレクティブも、これらの設定ファイルどれにでも入れることができます。Apache は起動時か再起動時のみメイン設定ファイルの変更を認識します。

サーバは MIME ドキュメントタイプを含んでいるファイルも読み込みます。ファイル名は TypesConfig で設定され、デフォルトでは mime.types になっています。

設定ファイルの構文

Apache の設定ファイルは 1 行に 1 つのディレクティブからなります。バックスラッシュ “¥” はディレクティブが次の行に継続していることを示すために行の最後の文字として使われているかもしれません。行の最後とバックスラッシュの間に他の文字や空白があつてはいけません。

設定ファイルのディレクティブは大文字小文字を区別しませんが、引数にはしばしば区別するものがあります。ハッシュ文字 “#” で始まる行はコメントと見なされて無視されます。設定ディレクティブの後の行ではコメントが含まれてはいけません。ディレクティブの前の空行と空白は無視されますので、わかりやすくするためにディレクティブをインデントしても構いません。

設定ファイルの構文エラーは、apachectl configtest かコマンドラインオプション -t を使って調べられます。

モジュール

設定ファイル

関連モジュール	関連ディレクティブ
mod_so	<IfModule> LoadModule

Apache はモジュール化されたサーバです。コアサーバには最も基本的な機能だけが含まれています。拡張機能は Apache にロードされるモジュール²として利用可能です。デフォルトでは、コンパイル時にモジュールの Base³ セット（基本セット）がサーバに含まれます。サーバが動的ロード⁴モジュールを使うようにコンパイルされている場合は、モジュールを別にコンパイルして、いつでも `LoadModule` ディレクティブを使って追加できます。そうでない場合は、モジュールの追加や削除をするためには Apache を再コンパイルする必要があります。設定ディレクティブは `<IfModule>` ブロックに入れることで特定のモジュールが存在するときだけ 設定ファイルに含まれるようにすることができます。

コマンドラインオプション `-l` を使って現時点で どのモジュールがサーバにコンパイルされているかを知ることができます。

ディレクティブの適用範囲

関連モジュール	関連ディレクティブ
	<Directory> <DirectoryMatch> <Files> <FilesMatch> <Location> <LocationMatch> <VirtualHost>

メイン設定ファイルにあるディレクティブはサーバ全体に適用されます。サーバの一部の設定だけを変更したい場合は `<Directory>`, `<DirectoryMatch>`, `<Files>`, `<FilesMatch>`, `<Location>`, `<LocationMatch>` セクションの中に置くことで適用範囲を決められます。これらのセクションはその中にあるディレクティブの適用範囲を 特定のファイルシステムの位置や URL に限定します。非常に細粒度の設定を可能にするために、セクションを入れ子にすることもできます。

Apache は同時に多くの違うウェブサイトを扱う能力があります。これは `バーチャルホスト`⁵ と呼ばれています。特定のウェブサイトにのみ適用されるようにするために、ディレクティブは `<VirtualHost>` セクションの中に置くことでも適用範囲を変えることができます。

ほとんどのディレクティブはどのセクションにでも書けますが、中にはコンテキストによっては意味をなさないものもあります。例えば、プロセスの作成を制御しているディレクティブはメインサーバの コンテキストにのみ書くことができます。どのディレクティブをどのセクションに書くことができるかを知るためには ディレクティブの コンテキスト⁶ を調べてください。詳しい情報は、`Directory`, `Location`, `Files` セクションの動作法⁷にあります。

.htaccess ファイル

設定ファイル

関連モジュール	関連ディレクティブ
	AccessFileName
	AllowOverride

Apache ではウェブツリーの中に置かれた特別なファイルを使って 非中央集権的な設定管理をできます。その特別なファイルは普通は `.htaccess` という名前で、[AccessFileName](#) ディレクティブでどんな名前にでも指定できます。`.htaccess` ファイルに書かれたディレクティブはファイルを置いた ディレクトリとその全てのサブディレクトリに適用されます。`.htaccess` ファイルはすべてのリクエストで読み込まれるため、変更はすぐに反映されます。

どのディレクティブが `.htaccess` ファイルに書けるかを調べるには、ディレクティブのコンテキスト⁶ を調べてください。サーバ管理者はさらにメイン設定ファイルの [AllowOverride](#) を設定することでどのディレクティブを `.htaccess` ファイルに書けるようにするかを制御することができます。

`.htaccess` ファイルに関する詳しい情報は `.htaccess` チュートリアル⁸ を参照してください。

URI References

- [1] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/mod/directives.html>
- [2] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/mod/>
- [3] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/mod/module-dict.html#status>
- [4] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/dso.html>
- [5] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/>
- [6] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/mod/directive-dict.html#context>
- [7] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/sections.html>
- [8] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/howto/htaccess.html>